

危機管理マニュアル

2024

危機管理への基本的な構え

- 1 危機管理場面を、油断なく、正しく認識する。
- 2 先見性をもって、危機的事態に備える。
- 3 状況を的確に捉え、臨機応変に対応する。
- 4 落ち着いて行動するために、報告・連絡を徹底する。
- 5 係分担を超えて、互いに協力・補完し合う。
- 6 危機管理の「さしすせそ」に従って対応する。

「さ」最悪を想定し

「し」慎重に

「す」素早く

「せ」誠意をもって

「そ」組織的な対応をする

(21) 富山市立八尾中学校

〒939-2306

富山県富山市八尾町井田120-1

TEL 076-461-7468

FAX 076-461-7310

(1) 危機管理マニュアル

危機管理への基本的な構え

- 1 危機管理場面を、油断なく、正しく認識する。
- 2 先見性をもって、危機的事態に備える。
- 3 状況を的確に捉え、臨機応変に対応する。
- 4 落ち着いて行動するために、報告・連絡を徹底する。
- 5 係分担を超えて、互いに協力・補完し合う。
- 6 危機管理の「さしすせそ」に従って対応する。

1 基本方針

学校は、生徒が安心して学ぶことができる安全な場所でなければならない。しかし、学校の安全を脅かす事件・事故が発生する。そのような事件・事故に備えて、学校において適切かつ迅速に対処できる危機管理体制を確立しておくことが重要である。

ここでいう危機管理とは、「人々の生命や心身等に危害をもたらす様々な危険が防止され、万が一事件・事故が発生した場合には、被害を最小限にするために適切かつ迅速に対処すること」を指す。危機管理の「さしすせそ」に従って対応する。

「さ」＝最悪を想定し 「し」＝慎重に 「す」＝素早く

「せ」＝誠意をもって 「そ」＝組織的な対応する

上記の目的を達成するために、緊急時の連絡体制や対応マニュアルを作成し、教職員の共通理解や生徒を含めた訓練を定期的の実施し、問題点の改善に努めていくことが必要である。

2 学校への不審者侵入に対する緊急管理の視点

(1) 不審者侵入を未然に防ぐための危機管理

第1に、不審者の侵入を未然に防ぐための危機管理である。学校内への不審者の侵入を防ぎ、生徒や教職員等の安全を脅かす事態が生じないように、対策を講じなければならない。

(2) 事件発生直後の危機管理

第2に、万が一不審者侵入事件が発生した場合において、事件発生直後に行う危機管理である。侵入した不審者から、生徒や教職員等の安全を守り、速やかな状況把握と救急・救命、被害の拡大防止・軽減を行うための対策を講じなければならない。

(3) 侵入者退去後・逮捕後の危機管理

第3に、万が一不審者侵入事件が発生した場合において、侵入者が退去した後に、または逮捕された後に行う危機管理である。事態の收拾や内外からの問い合わせに対応するとともに、事件・事故の再発防止と教育の再開に向けた対策を講じなければならない。

3 緊急時における安全対策

校長・教頭、教職員への情報伝達体制や生徒の避難誘導、警察・消防への連絡体制をあらかじめ定め、ケースごとにフロー図やマニュアルを作成する。

- ① 緊急時対応マニュアル
- ② 事故発生時の緊急管理体制
- ③ 不審者侵入時の緊急管理体制
- ④ 不審者侵入時の状況把握マニュアル
- ⑤ 不審者との対応・声かけマニュアル

4 安全管理体制

(1) 危機管理委員会

校長・教頭・教務主任・生徒指導主事・養護教諭・各学年主任の8名

(2) 職員会議での共通理解

危機管理マニュアルの見直しと連絡体制や対処、生徒の避難方法の周知徹底

(3) 保護者・地域・関係機関との連携、地域における連絡体制の確立

5 日常における安全確保、PTA・地域との連携

(1) 来校者の確認

玄関は常に施錠し、インターホンのモニターによって来校者を確認し、職員室にて用件を確認する。業者については、会社名と氏名を明記した名札を付けて出入りしてもらう。

(2) 校内巡視

午前・午後に管理職・生徒指導主事が校舎内1階の施錠箇所の確認・点検を行う。

(3) 登下校時や休日の対応

- ① PTAや小学校と連携し、不審者出現時の緊急連絡体制を構築する。
- ② 子供の安全確保のための地域での協力（平成21年度より校区防犯協会が設立）を呼びかける。
- ③ PTAが地域ごとに交通当番を割り振り、協力しながら安全を確保する。

(4) PTAに校下での危険箇所調査を呼びかけ、まとめたものを民生委員会・区長会等を通して、教育行政センターや総合行政センターに要望し、防犯灯や街路灯の設置を進める。

(5) 校内で生徒・教職員を対象に防犯教室を開催し、被害回避の方法や護身術を身に付ける。

(6) 職員会議において不審者侵入時の対応や連絡体制について協議する。

6 緊急時における安全対策

(1) 作成した危機管理マニュアルを見直し、危機管理意識の高揚と安全確保の方途について研修する。

(2) 防犯具を携帯あるいは設置する。

- ① 防犯ベル（全生徒の携帯推奨）

- ② 護身用防犯スプレー、さすまた（職員室入口近くと受付近くに配置）
- (3) その他防犯具になり得る物（机・椅子・モップ等）の使い方の研修

7 地域との連携による安全確保対策

- ① 防犯教室（警察署員の講演及び防犯劇）の実施
- ② 地域の『子供110番の家』の確認
- ③ 地域防犯組織との連携による見回り活動の充実
- ④ 家庭への啓蒙活動の継続
- ⑤ 「tetoru」への加入を勧める

(2) 危機管理

緊急時対応マニュアル

事故(事件)発生

1 学校内での事故への対応

- ① 発見者から通報
- ② 教頭・校長へ報告
- ③ 養護教諭(治療・処置)及び担任、生徒指導主事等への状況把握の指示
- ④ 救急車依頼の判断
- ⑤ 保護者連絡
- ⑥ 医療機関へ搬送
- ⑦ 報告 ◇時系列で経過確認・記録
- ⑧ 状況確認
- ⑨ 他の生徒に対する指導
- ⑩ 市教委への略報
- ⑪ 事故報告書作成 ◇翌日にも経過確認

2 学校外での事故への対応

- ① 外部からの通報
- ② 教頭・校長へ報告
- ③ 2名以上で現地確認
(1名は現状確認後戻り報告、メモ持参、事実を正確に)
- ④ 処置及び報告
- ⑤ 保護者連絡
- ⑥ 医療機関へ搬送
- ⑦ 報告 ◇時系列で経過確認・記録
- ⑧ 状況確認
- ⑨ 市教委への略報
- ⑩ 事故報告書作成 ◇翌日にも経過確認

3 事故報告(略報)

- ・ 事故報告は、簡潔・正確に伝わるようにする。
- ・ 誰が、いつ、どこで、何をしたか。(日時は、登校時・在校時・下校時・帰宅後の別)
- ・ 本人は、今、どうしているか。(入院先、医師の診断等)
- ・ 事故状況、被害の程度、加害者の氏名・住所、見取り図(交通事故の場合)
- ・ 学校の対応(家庭や本人、他の生徒に関するものやマスコミ、警察、保護者等)
- ・ 報告書の作成(結論を先に、状況を明確・的確・簡潔に記載)

4 緊急連絡先電話番号

富山市教育委員会	4 3 1 - 6 1 1 1	八尾中学校	4 6 1 - 7 4 6 8
生活指導直通	4 4 3 - 2 2 1 0	横野校長	
東部教育事務所	4 4 4 - 4 5 6 9		0 9 0 - 6 2 7 2 - 3 3 1 4
(指導課)		橋本教頭	
八尾消防署	1 1 9 (4 5 4 - 2 1 1 9)		0 9 0 - 4 8 7 3 - 3 5 1 9
富山西警察署	1 1 0 (4 6 6 - 0 1 1 0)	小林クリニック	4 5 5 - 0 0 1 0
八尾幹部交番	4 5 5 - 0 1 1 0		

事故発生時の緊急管理体制



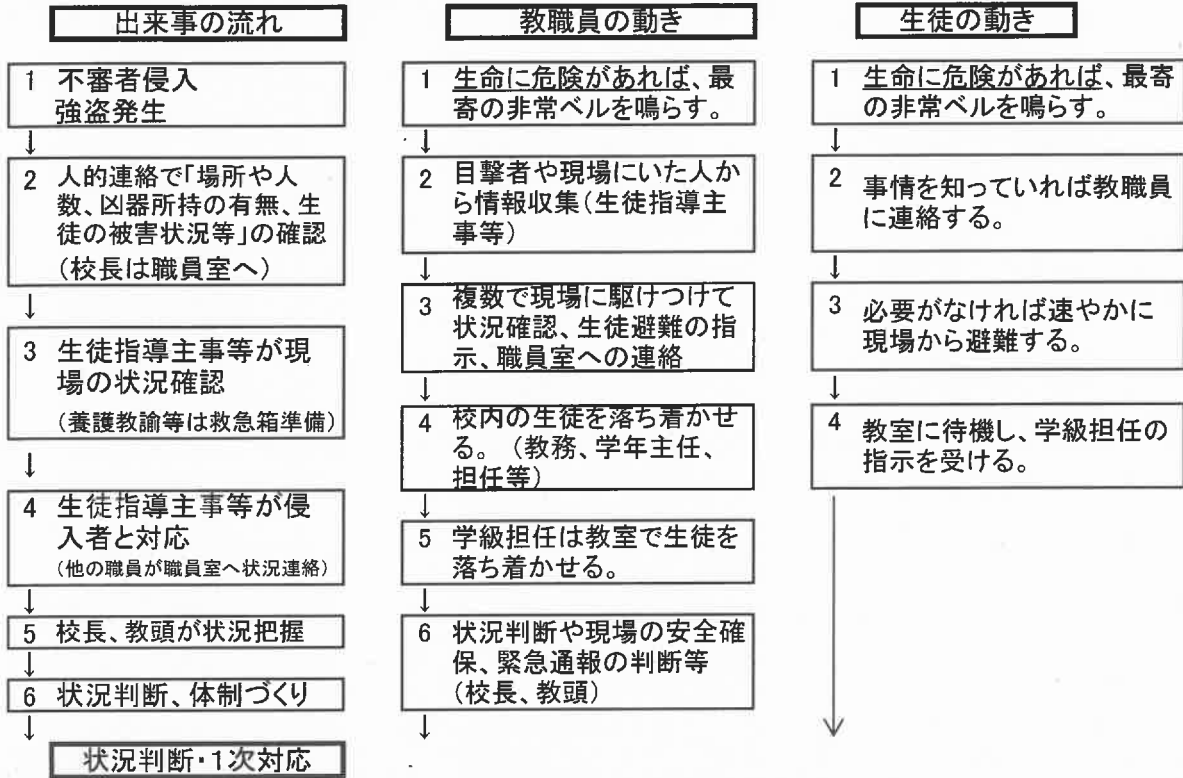
不審者侵入の防止の3段階のチェック体制

段階	具体的な方策	
①校門 (正門・南門)	利用時間	状態
	生徒登校時 (7:45~8:15) 登校終了 (8:15) 放課後 下校完了 (17:30)	開門<教頭・生指> 来訪者は通行禁止 閉門、生徒玄関施錠<生指> 開門<生指> 閉門、生徒玄関施錠<生指> 防犯カメラ1カ所は常時運用
②校門(職員用) から校舎入り口	生徒登校から下校時 (8:15~17:30)	常時開門 ・案内板に従い校門から職員玄関まで誘導 ・駐車場所は来客用 ・防犯カメラ2カ所は常時運用
③校舎への入り口	生徒登校から下校時 (8:15~17:30)	職員玄関のみ ・インターフォンで対応(職員室の教職員) 確認後、開扉 ・玄関で来訪者は名簿に記名 ・防犯カメラ1カ所は常時運用

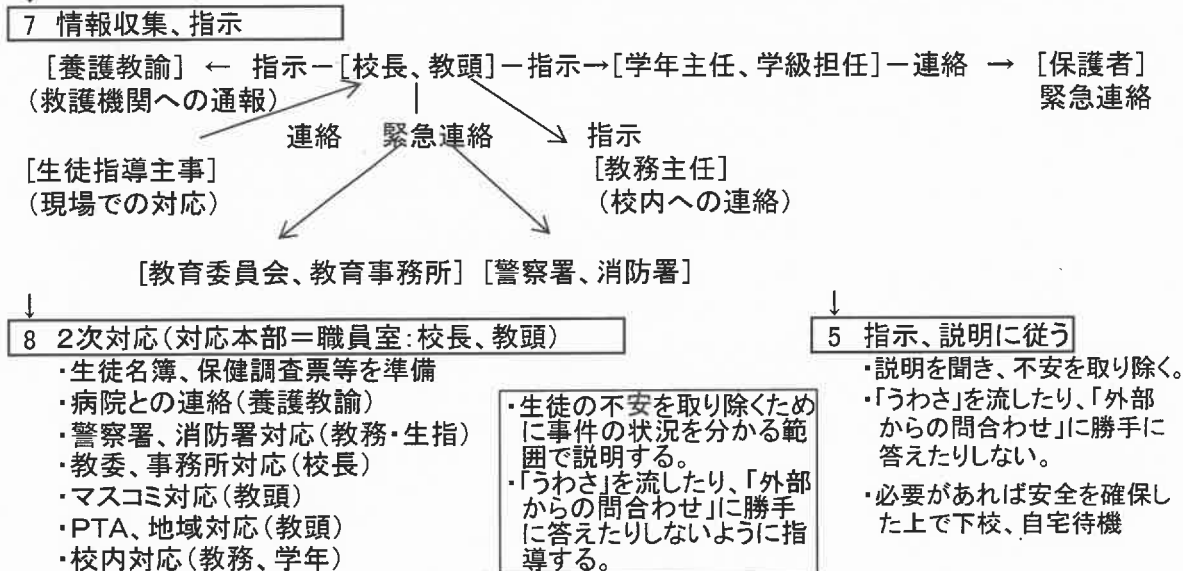
八尾中学校 危機管理マニュアル 1

区分 人的危急時

ケース 1 不審者侵入・強盗発生



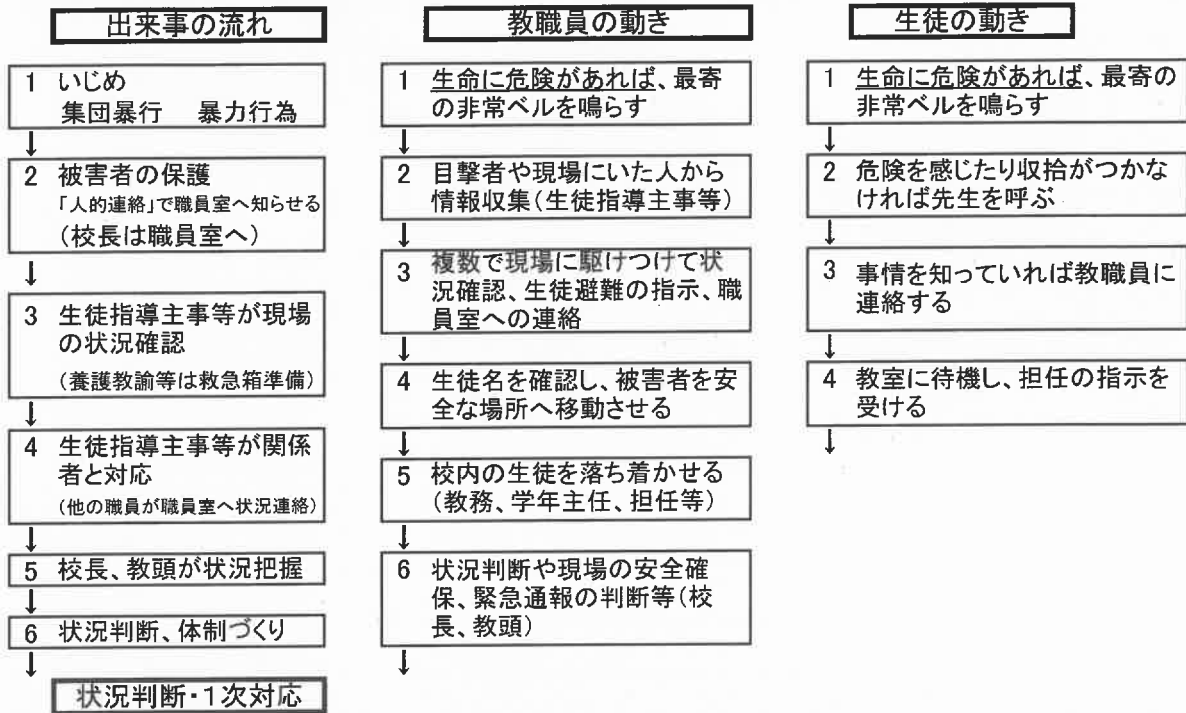
	レベルD	レベルC	レベルB	レベルA
不審者	・不審者が複数 ・不審者は凶器所持 ・生徒、教職員に負傷者	・不審者が複数 ・不審者単数だが校内をうろつき危害を及ぼす可能性	・不審者が単数 ・不審者が問いかけに応じない ・現場に居座る気配	・不審者が単数 ・不審者が問いかけに応じる ・素直に退出
強盗	・強盗犯が複数 ・強盗犯は凶器所持 ・生徒、教職員に負傷者 ・生徒が人質	・強盗犯が複数 ・強盗犯が複数凶器所持 ・強盗犯が興奮 ・生徒が人質の可能性	・強盗犯が単独 ・凶器を所持していない	
対応・連絡	・警察へ緊急通報確保	・全教職員による生徒の安全確保 ・対応は男性職員	・生徒指導主事らが複数で対応し、他の職員が生徒の安全確保 ・状況を見て校長、教頭が警察へ連絡	



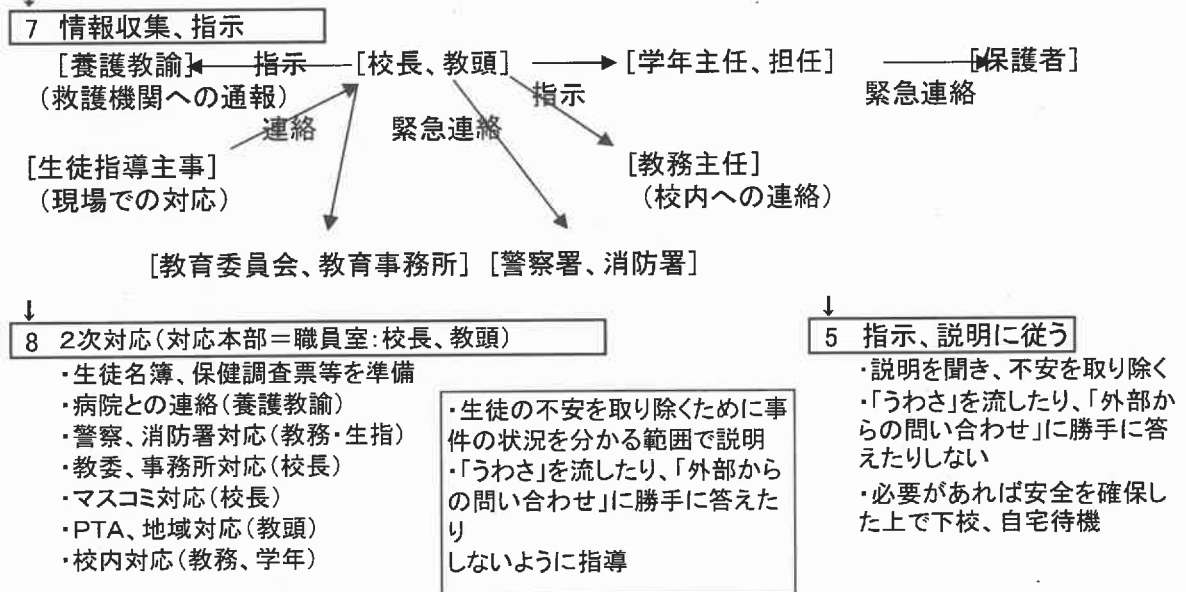
八尾中学校 危機管理マニュアル 2

区分 人的危急時

ケース 2 いじめ・集団暴行



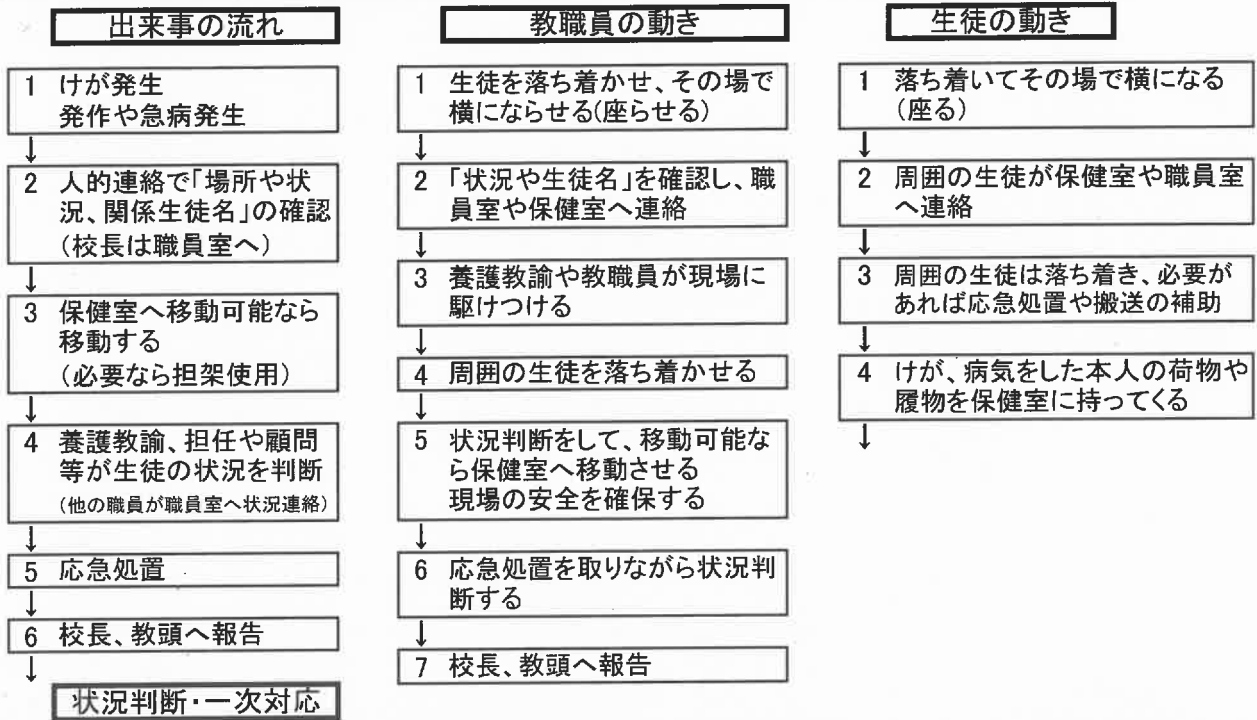
	レベルD	レベルC	レベルB	レベルA
状況	いじめ ・生命に危険あり ・自殺のおそれあり ・被害者に負傷あり	・被害者に負傷あり ・被害者が暴行・脅迫を受ける ・自殺のおそれあり	・生命の危険はないが、かつあげや脅迫を受けている ・いじめ被害が日常的	・本人や周囲からいじめの訴えが入る
	暴行 ・生命に危険あり ・関係者が複数で、被害拡大のおそれあり ・被害者に負傷あり	・関係者が複数で校内をうろついている ・問いかけや説得に応じない	・関係者は単数だが、特定の場所で籠城している ・問いかけや説得に応じない	・関係者は単数で、特定の場所から移動しない ・問いかけや説得に応じる
対応・連絡	・警察や消防署に連絡 ・保護者に連絡 ・受診後事情を聞く	・事情を聞いた後、病院で受診(タクシー利用) ・保護者に連絡	・事情を聞く ・担任が保護者に電話連絡 ・その後家庭訪問	・事情を聞く ・担任が保護者に電話連絡 ・その後家庭訪問



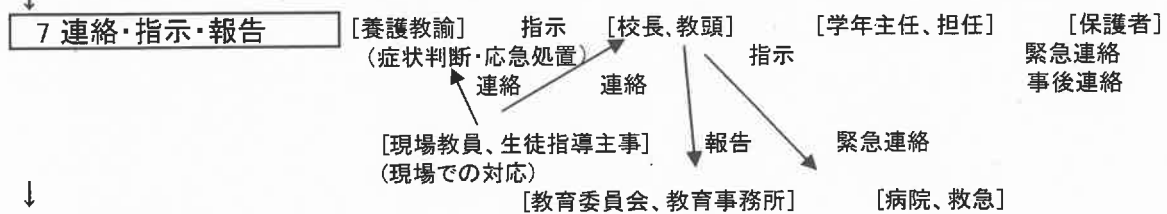
八尾中学校 危機管理マニュアル 3

区分 人的危急時

ケース 3 けが・発作・急病



	レベルD	レベルC	レベルB	レベルA
症状	・生命に危険があり緊急を要する。 ※意識不明・けいれん・大出血等	・早急に病院での受診を要する。 ※頭部や目の打撲・首から上のけが・骨折や脱臼の疑い・深い傷・汚れた傷・発作がおさまらないなど	・学校で一応処置をしたが、病院での受診が必要 ※程度の重い突き指や捻挫・浅い切り傷等	・学校で処置した後、家庭で手当てできる程度のけが ※すり傷・切り傷・軽い突き指や捻挫等
受診	・救急車要請 ・すぐに病院で受診	・営業車要請 ※緊急を要する場合救急車 ・すぐに病院で受診	・帰宅後に必要があれば病院で受診の要請	・病院受診の必要なし
対応・連絡	・校長、教頭の指示を受けて連絡 ・両方不在なら現場で判断 ・担任や顧問が同乗	・保護者に電話連絡し、受診病院を決定 ・受診病院と車両要請の連絡 ・担任や顧問が同乗	・担任か顧問が電話で保護者に連絡 ・経過を聞いて必要なら病院受診を勧める	・帰宅後、生徒が自分で保護者に報告 ・担任か顧問が電話で保護者に連絡



8 2次対応 (対応本部＝職員室・校長・教頭)

- ・生徒名簿、保健調査票等を準備
- ・病院との連絡(養護教諭)
- ・警察、消防署対応(教務・生徒)
- ・教委、事務所対応(校長)
- ・マスク対応(校長)
- ・PTA、地域対応(教頭)
- ・校内対応(教務、学年)

- ・生徒の不安を取り除くために事件の状況を分かる範囲で説明する。
- ・「うわさ」を流したり、「外部からの問い合わせ」に勝手に答えたりしないように指導する。

5 指示、説明に従う

- ・説明を聞き、不安を取り除く
- ・「うわさ」を流したり、「外部からの問い合わせ」に勝手に答えたりしない。

八尾中学校 危機管理マニュアル 4

区分 自然災害時

ケース 4 大雪・地震・台風・集中豪雨(洪水)



項目	レベルD	レベルC	レベルB	レベルA
警報	警報発令	警報発令	警報発令	注意報発令
状況	校舎倒壊・流失の危険 時間的余裕30分以内	校舎倒壊・流失の危険 時間的余裕60分以内	切迫した危険はない 時間的余裕2時間以内	切迫した危険はない 時間的余裕4時間以内
大雪	積雪50cm~/h	積雪30cm~/h	積雪10cm~/h	積雪10cm/h
地震	震度6以上	震度5	震度4	震度3以下
台風	風速30M~・集中豪雨・洪水	風速20M~・集中豪雨・洪水の可能性	風速10M~・大雨の危険性	風速10M・大雨の可能性
豪雨	降水量100mm/h~	降水量50mm/h~	降水量20mm/h~	降水量20mm/hまで
対応、連絡	<ul style="list-style-type: none"> ・即下校準備 ・教室待機、放送で誘導 ・地震の場合はグラウンド待機 ・校長、教頭は市教委連絡 ・担任は保護者へ連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・即下校準備 ・教室待機、放送で誘導 ・地震の場合はグラウンド待機 ・校長、教頭は市教委連絡 ・担任は保護者へ連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・下校時刻や方法を決定し、下校準備 ・指示を聞いて下校 ・必要あれば方面ごと集団下校 ・担任は保護者へ連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・常時情報収集 ・避難、下校準備 ・通常の活動の継続 ・臨時下校の際は家庭連絡



- 8 2次対応(対応本部=職員室:校長、教頭)
- ・けが、事故の規模によって対応本部設置
 - ・生徒名簿、保健調査票、救急箱、担架等を準備
 - ・病院との連絡(養護教諭)
 - ・警察、消防署対応(教務・生指)
 - ・教委、事務所対応(校長)
 - ・マスコミ対応(校長)
 - ・PTA、地域対応(教頭)
 - ・校内対応(教務、学年)

※万が一、下校途中で行方不明者やけが人等が出た場合、即保護者と警察、消防署に連絡する

- 7 指示、説明に従う
- ・説明を聞き、適切な対応をとる
 - ・必要があれば安全を確保した上で下校、自宅待機

八尾中学校 危機管理マニュアル 5

区分 火災時

ケース 5 火災

出来事の流れ

- 1 非常ベル反応
火災発生の声
- ↓
- 2 火災報知器と人的連絡で
「場所と状況」の確認
(校長は職員室へ)
- ↓
- 3 火元責任者が職員室在室
職員が現場の状況確認
(養護教諭らは救急箱準備)

状況判断・1次対応

教職員の動き

- 1 落ち着き、静かに放送を聞くよう、生徒に指示
- ↓
- 2 出席簿を準備し、生徒数と
欠席者の確認
- ↓
- 3 ドアを開き、現場から分かる範囲で
情報確認し、放送を待つ

生徒の動き

- 1 その場で座り、放送を聞く
- ↓
- 2 落ち着いて、最寄りの教職員の
指示に従う
- ↓
- 3 心の準備をし、ハンカチを口
に当てる

状況	レベルD	レベルC	レベルB	レベルA
状況	・火災発生 ・火の回りが速い ・爆発の可能性あり	・火災発生 ・火の回りが遅い	・ポヤ発生 ・現場で鎮火	・非常ベル誤作動
対応・連絡	・消防署へ緊急連絡 ・校内に緊急放送 ・避難誘導	・消防署へ緊急連絡 ・校内に緊急放送 ・避難誘導	・消防署へ緊急連絡 ・校内に状況放送 ・現場確認の上、必要があれば避難誘導	・校内に状況放送 ・北陸警備保障(ALSOK)へ連絡

- 4 関係機関へ連絡
校内緊急放送
- ↓
- 5 避難行動開始
- ↓
- 6 本部設営(校長、教頭、教務)
本部旗、生徒名簿、救急箱、ハンドマイク等を準備
- ↓
- 7 状況判断開始
- ↓
- 8 整列指示・点呼
人員報告・人員確認
- ↓
- 9 2次状況判断
校内防災班組織
- ↓
- 10 3次対応
(対応本部=職員室:校長、教頭)

- 4 119番へ緊急連絡(教頭)
八尾中学校です。火事です。
「出火場所や状況説明」消防署
の出動を願います。
- ↓
- 5 校内へ緊急放送(教務主任)
火災発生、火災発生。〇〇
より出火。延焼の恐れあり。
××を通過してグラウンド
へ避難せよ。
- ↓
- 6 避難誘導
- ↓
- 7 整列・点呼・報告
- ↓
- 8 校内防災班
・避難誘導班・搬出班
・消火班・検索班・救護班

- 4 緊急放送を聞く
- ↓
- 5 先生の指示に従い、避難開始
- ↓
- 6 避難完了
整列し、静かに指示を待つ
- ↓
- 7 指示・説明に従う
・説明を聞き、不安を取り除く
・必要があれば安全を確保した
上で下校、自宅待機

- ・生徒名簿、保健調査票等を準備
- ・病院との連絡(養護教諭)
- ・警察署、消防署対応(教務・生指)
- ・教委、事務所対応(校長)
- ・マスコミ対応(教頭)
- ・PTA、地域対応(教頭)
- ・校内対応(教務、学年)



八尾中学校 危機管理マニュアル 6

区分 火災時

ケース 6 落雷に伴う火災

出来事の流れ

- 1 非常ベル反応
火災発生の声
- ↓
- 2 火災報知器と人的連絡で
「場所や状況」の確認
(校長は職員室へ)
- ↓
- 3 火元責任者か職員室在室
職員が現場の状況確認
(養護教諭は救急箱準備)

状況判断・1次対応

教職員の動き

- 1 「落ち着きなさい。静かに放送
を聞きなさい。」と生徒に指示
- ↓
- 2 出席簿を準備し、生徒数と
欠席者の確認をする
- ↓
- 3 ドアを明け、現場から分かる範
囲で情報確認し、放送を待つ

生徒の動き

- 1 その場で腰かけ(しゃが
み)、放送を聞く
- ↓
- 2 落ち着いて、最寄りの教職
員の指示に従う
- ↓
- 3 心の準備をし、ハンカチを
口に当てる

状況	レベルD	レベルC	レベルB	レベルA
	・落雷直撃 ・火災発生 ・延焼中	・落雷直撃 ・火災発生認められず	・学校周辺に落雷	・雷警報発令
対応・ 連絡	・消防署へ緊急連絡 ・校内に緊急放送 ・避難誘導	・消防署へ緊急連絡 ・校内に状況放送 ・現場確認の上、必要が あれば避難誘導	・現場確認 ・校内に状況放送 ・必要があれば避難誘導	・校内に状況放送

- 4 関係機関へ連絡
校内緊急放送
- ↓
- 5 避難行動開始
- ↓
- 6 本部設営(校長、教頭、教務)
本部旗、生徒名簿、救急
箱、ハンドマイク等準備
- ↓
- 7 状況判断開始
- ↓
- 8 整列指示・点呼
人員報告・人員確認
- ↓
- 9 2次状況判断
校内防災班組織
- ↓
- 10 3次対応
(対応本部=職員室:校長、教頭)
・生徒名簿、保健調査票等
を準備
・病院との連絡(養護教諭)
・警察署、消防署対応(教務・生指)
・教委、事務所対応(校長)
・マスコミ対応(教頭)
・PTA、地域対応(教頭)
・校内対応(教務、学年)

- 4 119番へ緊急連絡(教頭)
八尾中学校です。落雷に伴い
火災発生。「出火場所や状況
説明」消防署の出動を願いま
す。
- ↓
- 5 校内へ緊急放送(教務主任)
ただ今の落雷により火災発
生。〇〇より出火。延焼の恐れ
あり。××を通過してグラウンド
へ避難せよ。
- ↓
- 6 避難誘導
- ↓
- 7 整列・点呼・報告
- ↓
- 8 校内防災班組織
・避難誘導班・搬出班
・消火班・検索班・救護班

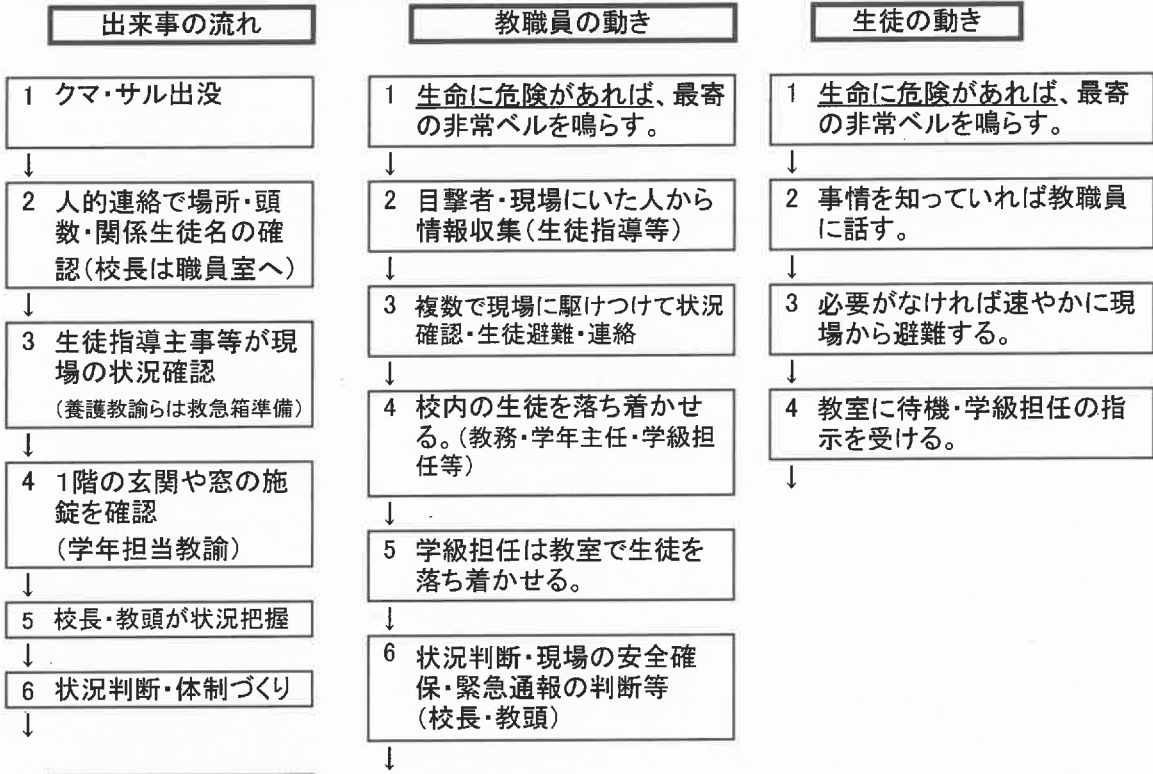
- 4 緊急放送を聞く
- ↓
- 5 先生の指示に従い、避難開始
- ↓
- 6 避難完了
整列し、静かに指示を待つ
- ↓
- 7 指示・説明に従う
・説明を聞き、不安を取り除く
・必要があれば安全を確保し
た上で下校、自宅待機



八尾中学校 危機管理マニュアル 7

区分 クマ・サル出没

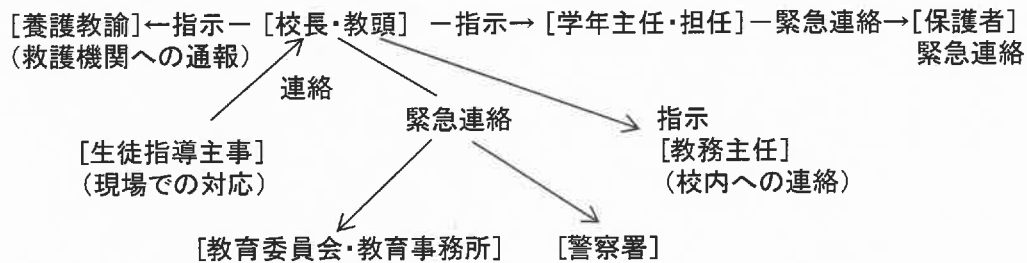
ケース 7 クマ・サル出没(課業中)



状況判断・1次対応

	レベルD	レベルC	レベルB	レベルA
クマ	・クマが複数又は単数	・クマが複数又は単数	・クマが複数又は単数	・クマが複数又は単数
出没場所	・生徒、教職員に負傷者 ・学校周辺	・クマが危害を及ぼす可能性あり ・学校周辺	・校区内	・校区の隣接地域
対応連絡	・警察へ緊急通報 ・全教職員による生徒の安全確保		・終学活時に、校内放送と学級担任から、下校時及び明日の登校時の注意を連絡	

7 情報収集・指示



8 2次対応(対応本部＝職員室・校長・教頭)

- ・生徒名簿、保健調査票等を準備
- ・病院との連絡(養護教諭)
- ・警察署、消防署対応(教務・生指)
- ・教委、事務所対応(校長)
- ・マスコミ対応(教頭)
- ・PTA、地域対応(教頭)
- ・校内対応(教務、学年)

5 指示・説明に従う

- ・説明を聞き不安を取り除く。